



議会だより

とらえい



尾呂地区から明神山を望む

もくじ

3月定例会報告	P2-8
一般質問ダイジェスト	P9-14
学習会開催	P15
修正動議とは？／議会活動報告／6月定例会の予定	P16

3月定例会

予算特別委員会

質疑

令和6年度一般会計

問

タクシー券給付補助金の大幅な増額の根拠を伺いたい。また、福祉タクシーの利用が拡充されるということはどう案内していくか。

答

今までどおりの福祉タクシー券とレスパイト対応タクシー券利用に加え、令和6年度は新たに福祉タクシー券対象者に要支援者を追加したため、予算が大幅に増額した。周知については、チラシを全戸配布するほか、ホームページや東栄チャンネルでも行う予定。

※レスパイト…介護する人の負担軽減を目的に、一時的に入院すること。

問

耳の聴こえサポート事業、備品購入費の内訳を伺う。補聴器の助成については検討されないか。

答

音声認識システムモニター一式、3台分を予定している。補聴器補助も前向きに検討するが、窓口などでの総括的な支援をしてからと考える。

問

河川水質検査委託料について、月トネル、奈根残土処分場の周辺を検査項目に追加すべきと思うが、新年度予算に含まれているか。

答

下流域で現在検査を実施しているので、追加で実施する予定はない。今後必要があれば検討していきたい。

問

コミュニケーションスクール事業を行うことで、児童生徒、保護者、教職員のそれぞれにとってどのようなメリットがあるのか。

答

学校、家庭、地域が、未来を担う子供たちをみんな育てようという共通の目標に向かって、話し合い活動をするという体制をつくっていくもの。学校の負担が増えないというメリットもある。

問

耐震化されている旧東栄小学校校舎の解体撤去をなぜ急ぐのか。

答

用途のない施設については、将来の利用見込みがなければ、個別施設計画においても除却として設定しており、パブリックコメントを経て現在の計画となっている。

問

予約バスの運行について、2月の一部見直しによって負担はどの程度増えたのか。また利用状況はどの程度か伺う。

答

一部見直し後の利用者はまだ少ない。今後も継続的に、仕組みについて周知をしていきたい。

問

とうえい温泉からの納付金が年1800万円。毎月150万円ずつ町に支払うことになっているが、近年この納付金を免除してきた。いつから免除してきたか。

答

コロナ禍の令和2年度から4年連続となり、合計で7200万円免除となる。

問

のき山学校施設費について、委託料、耐震工事費等の具体的な算出根拠と費用対効果を伺う。

答

委託料は、設計に相違なく行われているが監理業務するものである。施設を安全安心に使用でき、多くの個人や団体が利用し



住居付近まで乗り入れる予約バス

討論

賛成4名 反対3名

反対 浅尾もと子 議員

過去最高の42億1600万円。町の将来を顧みない予算だ。

①旧小学校解体費1億7213万円。町長は跡地が新庁舎の候補地になると答弁。目的を隠して解体したと批判を受けかねない。

②のき山学校整備費1億5064万円。パブリックコメントも住民説明会もなし、完成後のイメージも示さない。町が説明責任を果たさないことは許されない。

賛成 村本 敏美 議員

当初予算であり住民の皆さんの安心安全な暮らしに関わる多くの事業が予算化されており賛成する。

国民健康保険 特別会計予算

問 新年度の包括支援センターの予算でどんな支援が行えるのか。

答 要支援の方のみではなく、高齢者の総合相談窓口として機能しており、今後、認知症の支援や地域ケア会議の開催、専門職の方の業務の調整を委託する予定。

問 国が、将来的に国民健康保険料の水準を都道府県で統一するという方針を示している。統一後もこの国民健康保険調整基金を維持していく見込みなのか。

答 現段階では、国保の基金の維持は必要だと考えている。統一された後の運用について示されていないため、その段階で考えていきたい。今後、基金の取崩しを少なくするために、保険料の改定も視野に入れていかなければならないと考えている。

討論

賛成6名 反対1名

反対 浅尾もと子 議員

新年度の国民健康保険料収入は、被保険者数とその所得の減少で前年度比1100万円減の6608万円。町は保険料の改定を検討すると発言。しかし多くの市町村は、一般会計からの法定外繰入で保険料を引き下げている。現在ある9191万円の国保基金を取り崩し、他の自治体並みの繰入で保険料を引き下げべきだ。

賛成 佐々木一也 議員

町財政が依然厳しいなか、住民の生活に欠かせない保険のことであり、町民に不安や不信が広がらないように、町の置かれていた状況や、今後の見通しなどについて、定期的に、丁寧な説明や周知をお願いし賛成する。

東栄診療所 特別会計予算

問 電子カルテシステム等の更新について、新城市民病院と同じシステムを入れたほうが、運用費を抑えられるのではないかと聞かれています。また、北部医療圏でも医療DX化（デジタル化による変革）と言われているが、そういった動きとして兼ね合いはどうか。

答 電子カルテ自体は業務の効率化のため、なくてはならないものである。一概に一緒のシステムを入れることは、今の段階では困難であるし、メリツトが少ない。DX化については、直接的な兼ね合いは無い。

討論

賛成6名 反対1名

反対 浅尾もと子 議員

町は一般会計から1億3

544万円の運営費繰入金を見込む。患者の減少が続き、町民が求めた照明や案内表示、段差の改善は盛り込まれなかった。所長、看護師、職員の退職が相次ぎ、前年度の予算編成から9人が辞める事象だ。町長は、無床診療所の建設は職員の総意と胸を張ったが、町民にも医療スタッフにも希望を与えるものではなかった。

賛成 佐々木一也 議員

電子カルテは業務の迅速化、効率化のため必要で、以前から活用しているため、アナログな方法に戻すことはできないとのことで賛成する。ただ、職員数が減少していることは、非常に深刻な問題と捉えほしい。退職者にアンケートなどに協力してもらい、より良い職場づくりに努め、離職率を下げるきっかけを探してほしい。

令和6年度 東栄町簡易水道事業 特別会計予算

討論

賛成6名 反対1名

反対 浅尾もと子 議員

水道料金等の営業収入5311万円に対し、一般会計から1億4201万円を繰入する。給水量に対する収入を示す有収率は令和2年度44%、3年度41%、4年度30%と大幅に低下。町は、職員の増員など漏水対策を示さず、水道料金改定について「今すぐではないが検討が必要」と答弁。安易な値上げでなく、改善の努力を尽くすべきだ。

賛成 伊藤真千子 議員

老朽化している水道管・浄水場内機器の更新に向けた計画づくりの予算であり、漏水の削減、災害に強い水道管の整備としても重要であり住民生活になくてはならない水道水を安定に供給し続けるための予算である。



常任委員会

質疑

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 消防団員の手当の改正の年間予算の影響は。

答 標準的な団員では、年間1日の火災出勤、5回の訓練出勤があったと想定し、一人あたり1万1000円増、予算は154万7000円増。



消防団

町税条例の一部改正

問 提案理由が固定資産税の納期前納付報奨金の廃止をするためとあるが、その理由は。

答 ①固定資産税に限定のため、住民税だけ課税されている方などは利用できず、納税者に不公平感が生じていること。
②全額一括納付できない方には利用しづらい制度。
③納付方法も多様化してきており、納税者の利便性が大きく向上し、当初の目的がおおむね達成されたため。

討論

賛成6名 反対1名

反対 浅尾もと子 議員

固定資産税の納期前納付報奨金を廃止する議案だ。利用実績は、令和3年度・4年度ともに1296件86

万円。令和5年度は1295件86万円を見込む。全体の6割が報奨金を活用しており、廃止は納税者の負担増を招く。納税者の意見を聞くべきだ。設楽町は段階的縮小を経て廃止した。唐突な来年4月廃止は住民の合意を得られない。

若者定住住宅管理条例の一部改正

問 東園目住宅をこの条例から除くということだが、その理由は。

答 その住宅は有限会社志多らと契約しており、入居に関してお任せしているため、若者定住住宅から外した。



辺地総合管理計画の変更

問 東園目辺地事業費大幅増額の理由は。
答 林道が大きく崩れており、工事が単年度では終了できないため。

問 小林辺地にかかる事業費の変更理由は。
答 災害があった関係で補修できなかった橋を前倒して工事するため。

一般会計補正予算(第11号)

問 おいでん家支援員委託料が半減した理由

答 コロナの影響で週2回開催を1回にした地区があるなど全体的な開催数減とともに委託料も減となり、600万円となった。

問 明峰福祉会委託料680万円減額の理由は。

答 6月に緑風園を休止したため、4月、5月分のみ委託料を支払った。

問 緑風園に入所していた方たちの今後のサポートは。

答 介護認定を受けている方がほとんどで、介護サービスを使っていたことを考えている。どういったサポートがいいのかは、専門部会の意見を参考に考える。

問 東栄中学校50周年事業検討委員会委員謝礼35万円減額の理由は。

答 多くの方に参画をい想定して予算を確保していた。しかし、中学校のPTA役員をメンバーにした検討委員会にし、PTA役員会とあわせて開催したため減額した。

問 部活動地域移行検討委員会委員謝礼21万円減額の理由は。

答 現時点で国のガイドライン等で示されている内容では、子どもたちに適切な活動機会を保障することが難しいという状況もあり、町が方向性を定めて検討委員会を立ち上げるには至らなかったため。

問 とうえい健康の館指定管理委託料の増額理由は。

答 宿泊者数増により、人件費・広告宣伝費・燃料費・光熱費が上昇したため。

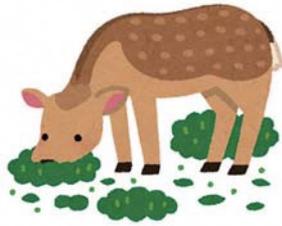


問 畜産飼料価格高騰対策支援補助金152万円について伺う。

答 町の基幹産業のひとつである養鶏業の飼料価格が高騰しているための支援策。

問 有害鳥獣駆除委託料323万5000円の減額について伺う。

答 不適切なワナの使用による数名の有害鳥獣駆除従事者の取消しがあり見込みが減ったため。



問 北設楽郡遺族会負担金8万4000円の減額した理由は。

答 北設楽郡遺族会が解散したため。

問 温泉施設修繕費690万円の内訳は。

答 ボイラー関連等の緊急修繕費である。

問 Sアラート更新業務委託料120万7000円について、具体的にどのような情報を発信するのか伺う。

答 職員専用の機能である。内容は、

- ①災害発生時、各職員が役場へ登庁可能であるかの確認機能。
- ②害発生状況を職員間で情報共有する機能。

討論

賛成6名 反対1名

反対 浅尾もと子 議員

①ワナの不適切使用による鳥獣駆除委託料190万円の減額。議員が指摘するまで町が報告しなかったことは問題だ。

②温泉を運営する(株)とうえいの納付金1800万円を4年連続で免除する。温泉は、相次ぐ修繕で臨時休業を繰り返して、監査役は「根本的な改修」の必要性を指摘。危機的な状況を町民に明らかにすべきだ。

賛成 西谷 賢治 議員

補正は本年度の実績を見込み必要なものであり、持続化給付金の商品券対応等も給付に関する遅れも調整に時間が必要であったと認識し賛成する。

国民健康保険特別会計 補正予算(第5号)

問 歳入の大幅な減額の理由は。

答 交付金見込み減額、被保険者の減少や所得の低迷により、保険料の収入の見込みが減額したため。

東栄診療所特別会計 補正予算(第2号)

問 消費税の110万8000円増額の理由は。

答 確定申告の簡易課税方式で行っていたが、本年度はそれができなくて本則課税となったため。また、特定収入不課税収入が増えた。

問 外来収入について76万円減少による患者数の変化は。

答 令和4年度は2万4990人。令和5年度は2万3810人を見込んでいる。



令和6年度 東栄町 一般会計予算

修正案 審議

令和6年度一般会計予算の審議において、「旧東栄小学校等解体事業費」と「のき山学校整備事業費」をそれぞれ減額する「修正予算案」（合計△3億2278万円）が、浅尾議員他1名から提出された。原案（執行部提出の予算案）の審議の前に、修正案の「質疑」「討論」「採決」が行われた。（採決の結果、賛成少数で否決）

質疑

岡田 浩二 議員

旧東栄小学校校舎等解体事業の事業費とのき山学校整備事業の事業費の財源についてどう捉えているのか、特に財源構成と町としての最終的な財政負担額を説明してもらいたい。なお、事業及び計画の説明責任の観点からのみの理由をもって予算を減額するということが、併せて伺う。

答

浅尾もと子 議員

町によれば、旧東栄小学校解体工事の財源は全額が一般財源で、のき山学校改修事業は国の交付金、一般財源及び借入を充てる。一般財源は、予算を組む中で積み上げた金額であり、こちらのどの財源を減額するか、正解はないと思う。不足する財源を自由に補うことができない財政調整基金繰入金金の減額が適切と考えた住民の合意のない事業を行うこと自体が問題であり、その一点で撤回されるべき予算である。

問

岡田 浩二 議員

より正確な試算が必要であることを指摘したい。次にいずれの事業も町の計画上の位置づけを持って進められており、またこの事業の財源的な裏付けは過疎地域持続的発展計画において位置付けられている。町の諸計画及び財源措置との関係として、どのようにこれらの事業をとらえているのか、基本的な理解・認識を伺う。

答

浅尾もと子 議員

町が各種計画にこれらの事業を位置づけてきたことは事実だが、計画が必ず遂行されてきたわけではないこともご理解いただきたい。かつての計画には「東栄病院の充実」が記され、今議会では、過疎地域持続的発展計画が見直されるように、計画は常に見直されてきた。修正動議の目的は、いったん予算から除外し、町に説明責任を果たすよう求めるもので、事業の廃止を意味するものではない。

問

岡田 浩二 議員

答弁にあったように、これらの事業が町の総合計画や諸計画において進められることは間違いがない。町も早い段階から公共施設の老朽化への対策を課題として取り上げ総合計画に明記しこれに沿って計画されてきたことになる。丁寧な説明は必要であるので、事業執行にあたり議会として求めていくことが重要であり、減額修正以外の対応も可能ではないか、伺う。

答

浅尾もと子 議員

議会として住民への説明の機会を求めることは、大変重要である。今議会で常任委員会は議長の申し出を受けて閉会中審査の実施を決定した。説明不足だという点で、議会全体の合意が得られたと考える。ならば、予算を決定する前に説明がされるよう努力を尽くすが議会のあるべき姿だ。

問

伊藤真千子 議員

現在の耐震基準は旧の耐震基準であり、震度6強に對しては若干不十分で、解体しないとなると耐震基準をもう一度やり直さないといけないと考えるがどうか。

答

浅尾もと子 議員

旧東栄医療センターは耐震基準を満たさず、隣家との距離が近く危険だが、解体のための調査予算すら取られていない。町内に耐震基準を満たさない建物が数多くある中で、旧小学校の解体を遅らせたとしても耐震化をやり直す必要はない。最も危険なものから解体していくべきだと考える。

討論

賛成3名 反対4名

賛成

佐々木一也 議員

旧東栄小学校校舎等解体工事は、建物自体が危険な

状態で今後除却するとなつている施設などがある中、利用見込みがないという理由のみで先行して解体することなど、のき山学校整備事業は、収支や利用客の算定根拠がなく、整備後の利活用に不安感が消えないことなどから、それらを除いた修正案に賛成する。

反対 岡田 浩二 議員

町も早い段階から公共施設の老朽化等への対策を課題として取りあげ、総合計画に沿って計画されてきたことは確認されている。情報提供不足と説明がないとのことだが、インターネット等で情報収集は可能。木を見て森を見ないようでは、持続可能な未来を描けない。しっかりと世代を超えて未来を見つめていきたいため、修正動議に反対する。

定例会討論

指定管理者の指定

賛成6名 反対1名

反対 佐々木一也 議員

指定管理者の指定は、住民サービスを効果的、効率的に提供するため、民間事業者などから幅広く求めることに意義があるとされる。公募の結果、申請がなく従前団体を指定するとか、設置目的の達成が明白な場合に継続して指定するならばよいが、そうでなければ、選定を閉鎖的に行わず、規定どおり幅広く公募する必要があると考え反対する。



日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める請願

採択3名 不採択4名

採択 浅尾もと子 議員

2021年発効の核兵器禁止条約への、日本の参加・調印・批准を求め、その意見書を東栄町議会から政府にあげよ、という請願だ。日本は、同条約を議論する国連の会議にも参加せず、極めて後ろ向きだ。唯一の戦争被爆国である日本が、再び世界で核兵器を使わせなくてはならないという世論の先頭に立つべきだ。

採択 佐々木一也 議員

核がないことが当たり前の世界になるよう、声を上げられない事情がある都市などに替わり、小さな町の声を国に届け続けることで核兵器禁止条約の参加等を

求め、最終的には、唯一の被爆国である日本という小さな国が、核のない世界を目指すため、全世界に声を届けられるよう先頭に立っていただきたいことから賛成する。

不採択

伊藤真千子 議員

日本は、広島と長崎での原爆投下により悲惨な体験をした唯一の被爆国として、核兵器の全面的な廃絶に向けて積極的に貢献すべきと思うが、核兵器国や核の傘下国が参加していない、また核兵器の廃絶に向けた具体的な筋道が示されていない等考慮すると現実的な価値がなく、国民の生命や財産が危険にさらされてもかまわないと言っているのと同じであると判断し不採択する。

不採択

櫻井 孝憲 議員

この件に対して、賛成の立場の考えは十分に理解で

きる。一発の核爆弾が無差別に多くの命を奪い、生き残った人々の人生も変えてしまう。しかし、本当に声を上げなければならぬことは、戦争のない世界を目指すところにあるので、現時点で日本が核兵器禁止条約に参加することによって、戦争がなくなるとは思えない。逆にこの条約に参加することによって、別の摩擦を生み出す可能性が高いと思われる。



広島原爆ドーム

3月定例会

会期：3月6日から18日までの13日間開催。
 上程された案件は承認1件、発議1件、条例一部改正10件、令和5年度一般会計補正予算1件・特別会計補正予算7件、令和6年度一般会計予算1件・特別会計予算12件、選挙案件1件、請願1件。

令和6年度
新規事業

- 旧東栄小学校校舎等解体工事 1億7,213万円
 ● 公共施設等総合管理計画に基づいて、旧東栄小学校敷地内の建物解体及び樹木等撤去工事を行う。
- のき山学校整備事業 1億5,064万円
 ● 体験交流の場として、より活用するために、耐震補強を始めとした施設整備及び備品整備を行う。
- 登記課税連携システムの導入 886万円
 ● 法務局の登記移動情報を町固定資産税システムとデータ連携することにより、事務の効率化等を図る。
- 子ども・子育て支援事業計画の策定 580万円
 ● 成育医療等基本計画・町の子ども計画の趣旨を反映させる〔第3基子ども・子育て支援事業計画〕を策定する。
- 預り溯ログハウス周辺活用調査事業 187万円
 ● 預り溯ログハウスとその周辺の活用調査を実施し、新たな観光資源の一つとする。
- とうえいコミュニティスクールの設置・運営 39万円
 ● コミュニティスクールを設置し、学校運営協議会の開催と地域学校協働本部の運営を行う。
- 東栄中学校開校50周年記念事業 4,307万円
 ● 開校50年の節目を迎え記念事業を行うとともに、老朽化した体育館の床改修工事を実施する。

定例会 審議結果

全員賛成で原案のとおり可決した案件

- 令和5年度東栄町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認
- 町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定
- 東栄町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 東栄町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 東栄町課設置条例等の一部改正
- 東栄町国民健康保険条例の一部改正
- 東栄町若者定住住宅管理条例の一部改正
- 東栄町過疎地域持続的発展計画の変更
- 東栄町辺地総合整備計画の変更
- 令和5年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
- 令和5年度東栄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和5年度東栄診療所特別会計補正予算（第2号）
- 令和5年度東栄町園財産区特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度東栄町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）
- 令和5年度東栄町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 令和5年度東栄町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和6年度東栄町後期高齢者医療特別会計予算
- 令和6年度東栄町（御殿・本郷・下川・園・三輪・振草）財産区特別会計予算
- 令和6年度東栄町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- 令和6年度東栄町農業集落排水事業特別会計予算
- 東栄町職員の旅費に関する条例等の一部改正
- 東栄町選挙管理委員及び補充員の選挙

賛否が分かれた案件

○=賛成 ×=反対（※請願 ○=採択 ×=不採択）

〈議席順〉

議案名 ※議長は採決に加わらない	岡田 浩二	佐々木 一也	浅尾 もと子	櫻井 孝憲	伊藤 真千子	西谷 賢治	村本 敏美
東栄町町税条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○
指定管理者の指定	○	×	○	○	○	○	○
令和5年度東栄町一般会計補正予算（第11号）	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度東栄町一般会計予算	○	×	×	○	○	×	○
（令和6年度東栄町一般会計予算に対する減額修正案）	×	○	○	×	×	○	×
令和6年度東栄町国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度東栄診療所特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度東栄町簡易水道事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○
日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める請願	×	○	○	×	×	○	×



村本 敏美
議員



愛知県水道広域化推進プランについて

問 県と西三河地域が一体化に向けた取り組みが軌道に乗れば、東三河の自治体に広げる考えを示したが町の考えは。

答 建設課長 北設については集落が散在し高低差があり、施設の共同化・均等化は難しい。

答 町長 中山間地域における簡易水道において、人口密度が低くて効率も悪く、経営条件も厳しい東三河の状況は、西三河とは違う。広域化を検討する事は重要と認識しているが、壁があり時間をかけて取り組む必要がある。

空き家について

距離や高低差のある地域では集約は難しい。

問 町で地震が発生し断水したら、住人に多大な迷惑がかかる。

答 耐震化された給水管等の取り替えを優先して行う考えは。

問 耐震も含め、管路更新が必要であり、導水管の更新も、老朽化・耐震化対策の一環として実施している。

答 建設課長 水道料金の見直しを考えているか。

問 公営企業会計になり1年が経過した。今すぐ見直しは考えていない。検討は必要である。

答 建設課長 施設の集約は考えているか。

問 本町のように集落間に

答 建設課長

空き家対策協議会

問 町に空き家は何件か。空き家バンクに登録されているのは。

答 総務課長 平成30年の調査では354件、現在バンクには24件登録されている。

問 所有者がわかっていない空き家は。把握していない。

答 総務課長 空き家対策協議会では、どの様な協議が行われているか。

問 特定空き家の話など、全般について協議している。

答 総務課長 管理不全空き家・特定空き家の判断

問 は。

答 総務課長

空き家対策協議会で行う。

問 万場通りで北側に傾いた空き家について、以前も質問があり、平成29年より所有者に連絡を取っているとのことだが、現在もそのままである。町の中心部でもあり、景観も悪い。次の方法を考えているか。

答 総務課長 電話だけでなく、現在の状況の写真・文章でお願いしているが進展はない。

問 本年4月1日から始まる相続登記の義務化による町の対応は。

答 総務課長 法務局と連携し制度の周知を継続する。無料登記相談が毎月役場で開催されている。専門機関と

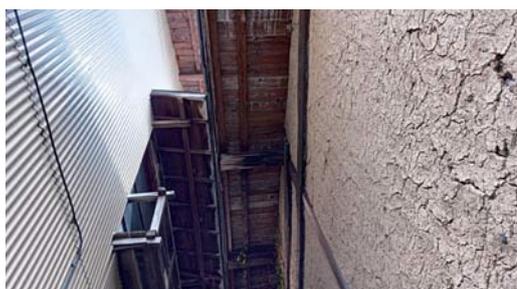
連携した取組を進める。

問 豊田高専の建築学科の研究チームが空き家の調査をしている。結果を提供していただきたい。

答 総務課長 提供できる情報であれば行ってみたい。



町内の空き家の様子 (玄関の破損)



隣家に傾いている空き家 (下から見て底部分が重なっている)



佐々木一也
議員



デジタル簡易無線の設備及び補助金の創設

問 免許などの手間が不要で、基地局の機能不全を心配する必要がないデジタル簡易無線機の拡充を図り、IP無線機の配備を縮小・取りやめる考えはあるか。

答 総務課長

町のIP無線機の基地局は遠隔地にあり、災害時に基地局が被災するリスクを軽減している。また、一般回線とは別回線で混線の心配も少ない。IP無線機は町内一円が範囲なのに対し、デジタル簡易無線機は数キロの範囲である。双方にメリット、デメリットがあるので、配備を継続したい。

問 6月2日の台風で古戸地区のIP無線機が使えなかった理由は。

答 総務課長

可能性として町のIP無線機の電源が落ちていたことが考えられる。災害対策本部と距離が近い、本郷、市場、下田地区などは無線電波が届かないという心配はまずない。1台月約5万円の維持費をかけてまでIP無線機を全地区に配備しなくてもよい



と考えるが、災害対策本部の近くの地区をデジタル簡易無線機に変更する考えはあるか。

答 総務課長

それぞれメリット、デメリットがあるので、IP無線機やデジタル簡易無線機などの各種ツールを今後も活用したい。

協働のまちづくりのための住民参加・参画基準の策定について

問 町民から説明がないとか不十分とか聞くが、そのような声があることを知っているか。また、それをどのように受け止め、考えているか。

答 総務課長

周知・説明が十分に伝わらない場合があることは承知している。十分理解してもらおうことで円滑に施策が推進できるので、一人でも多くの町民に関心を持ってもらえるような周知、説明を心掛けたい。

問 まちづくり基本条例の、住民のまち

づくり企画などへの参加保障をどのように考えているか。

答 総務課長

政策を進めるうえで、町民に知ってもらうことは、考え方を共有することは非常に大切である。政策の各過程で、町民から意見をもらうなど、関わりをもてる機会を設けるよう努める。

問 まちづくり基本条例の町民のまちづくりへの多様な参加の機会を設ける手段について、どんな手段をどんなときに使うのが適当と考えるか。

答 総務課長

手段については、全体的な意向を把握するには一斉アンケートなど、直接意見を聞くには座談会などへの参加をお願いすることになる。

時期については、企画段階から参画し一緒に考えてもらう場合や、町の方案を示す段階で意見を聞く場合があると思う。それぞれにタイミングがあるので、適切な時期に参

加してもらおうのが良いと考える。

問 どのような事業や工事などの参加の機会を設けるのかを示した、住民参加基準を作る考えはあるか。

答 総務課長

基準を作る場合、事業ごとに費用や内容などの要素をもとに、どの時期にどのように参加してもらうか設定する必要があり詳細になるため、基準を定めるのは難しいが、町民の不安や心配ができる限り少なくなるよう、今後も必要な時期に適切な方法で意見をもらう機会を設けるよう努めていきたい。





櫻井 孝憲
議員

三遠南信自動車道 東栄インター開通 に向けての経済政 策について

問 予想される経済効果に対して、どのような政策を立てているのか、伺う。

答 経済課長

商工会と取り組んでいる「まちめぐり」を主軸とし、協力可能な事業所、個人事業主と連携を図り、個人では難しい情報収集や情報発信の推進を行う。また、「のき山学校」の整備により、経済や文化の多様性を広げるだけでなく、新たなビジネスやイノベーションが創出され、地域と多様に関わる「関係人口」を呼び込めると考えている。

問 東栄インターに、トイレや飲食店を備えた集客力のある施設

スタートアップ事業として借りられるタイニーハウス、東栄町の魅力を紹介できる施設等を新設することは可能かどうか、伺う。

答 経済課長

用地や財源等の確保ができるまでは、既存施設の有効活用を図る。限られた土地を有効に活用するという点では、タイニーハウスを活用した受け入れ体制は考える価値がある。

問 東栄町の主要施設への案内板がないが、案内板を新設する予定はないか、伺う。

答 経済課長

内容の更新も含めて、令和6年度に景観に配慮した配色で施した観光案内版の設置や修繕等を計画している。

東栄駅舎の整備について

問 東栄駅舎の老朽化が目立つため、JRと協力して修繕ができないか。また鬼をモチーフとしたチェンソーアート作品を展示する等、さらに町の魅力をアピールすることは可能か、伺う。

答 経済課長

修繕等にはJRとの協議が必要となるので、「飯田線東栄町の顔」として修繕等行えるよう、JR側と協議を進めていきたい。

災害時に備えたライフラインの整備について

問 国道151号および国道473号沿線に多数の電線が走っており、地震や大雨による倒木で断線してしまう危険性が高い。沿線の樹木の伐採の計画があるかどうか、伺う。

答 経済課長

あいち森と緑づくり事業として順次、公道沿い

の山林について、防災・減災の観点から国道151号沿いの施設を行って

問 水道管の漏水があるのかどうか、伺う。

答 建設課長

有収率から見ても漏水はある。

問 有収率は他市町村と比較してどのような状況なのか、またその数字が災害時の生活にどう影響するのか、伺う。

答 建設課長

近隣町村と比べても低い。老朽化した管路が地震によって更なる漏水を引き起こし、水量不足が予測されるので、配水管の更新を進めて行く。

問 東栄町総合計画には、有収率が2014年は56・0、2019年は55・8、2025年は60・0と記載されているが、現状、60・0の数値へ近づいているか、伺う。

答 建設課長

管の老朽化等による漏

水により、逆に有収率が下がっている。

問 災害時に断水しないよう、水道管を交換していく計画はあるのかどうか、伺う。

答 建設課長

県へ計画申請しており、令和7年度から配水管又は浄水場の機器の更新を予定している。

問 下水道施設、下水道管の老化、それに伴う地震対策を伺う。

答 建設課長

下水道管は概ね20年以下であるため、次の計画で検討する事後保全と分類されている。東栄浄化センターは、平成12年からの供用で比較的新しく、コンクリート構造物の耐震構造で、令和元年度から機器更新工事を行っており、令和6年度と7年度で高速ろ過装置の更新を予定している。





伊藤真千子
議員



小中学校の防災倉庫設置計画は

問 令和3年12月議会で、小・中学校・保育園に、防災倉庫の設置計画は、「ない」と回答したが、今後の計画は。

答 総務課長

防災倉庫の設置は、考えていない。令和6年、ひだまりプラザ裏に設置する。



役場職員駐車場にある防災倉庫

防災食の利活用

問 防災食を、税金を使い4・5年破棄しているが、消費期限が3ヶ月以内の防災食を小・中学校に緊急時備蓄米とする考え、またイベント等で防災食の試食、また配布する等の考えはないか。

答 教育課長

考えていないが、今後小中学校へ備蓄する必要や場所・食数・活用法等について関係者と検討する。

答 総務課長

自主防災会への配布・小中学校の防災食教育で活用・にこにこ広場や社協が訓練で配布した実績はある。今後イベント等にも活用できるように検討する。
また過去に廃棄したも

のは、ひとつの単位が大きく配布が困難であったが、現在は一人で消費が可能であるため配布しやすい。今後は、廃棄が出ないように計画的に行う。



1人分の防災食

日本各地で大きな地震が発生。災害が起きた場合

問 現在の庁舎は、耐震が不十分である。災害対策本部をどこに設置計画するか。また設置基準と災害時の役割とは何か。

答 総務課長

町災害対策本部運営要綱に、町長室又は町長が指定とあり、本庁舎が使用できないときには、保健福祉センター・役場分庁舎・とうえい健康の館となつている。

災害ボランティアの拠点と活動内容・ボランティアセンターの設置場所は

設置基準は、県東部に震度5弱以上の地震が発生したとき、風水害を含め地域に小規模若しくは相当規模の災害が発生・発生のおそれがあり、町長が必要と認めた時である。また、災害時の役割は、72時間までは人命救助。3日目以降は、ライフラインの復旧・他市町村や公共機関への応援要請等。

問 災害が起きると災害ボランティア、またボランティアセンター設置等を耳にするが、どのようなものなのか。

答 総務課長

社協が運営主体となり、災害ボランティアコーディネーターと共同で運営。災害対策本部と連携し災害情報の収集・連絡調整・情報発信等である。ボランティアセンターの設置場所は、B&G海洋センターであるが、使用不可のときは、ひだまりプラザ「社協」である。

災害時の孤立集落の対応・住民の状況や状態確認方法は

問 東栄町は、山に囲まれ地域は、橋でつながっている。国道151・473の橋が崩落すれば、集落の孤立は目に見えている。孤立集落との連絡方法は世帯により違いがあるが、各地域の住民情報をどのように得るのか伺う。

答 総務課長

地区防災会本部とIP無線で対応。IP無線が使用できないときは、アマチュア無線で対応する。現在NTT西日本と覚書を締結し大規模災害に使用する特設公衆電話を本郷荘と古戸会館に設置今後順次各地区に設置する。

答 福祉課長

現在各地区で支援者の登録を行い個別避難計画を作成している。今後、自主防災会の避難訓練等を活用し災害時に必要な支援が行える体制づくりを進めていきたい。

答
町長

「誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり」これからの医療のしくみ」と題したチラシが町内に配布され「健康相談や電話相談窓口は24時間対応。」「在宅透析の設備にかかる費用を助成し、毎月の補助も調整する」「一時受入れについてはやまゆり荘や緑風園、関係機関と現在調整をしている。」「通院で新城市へ行く為の補助券など調整中。」など、3年を経過した現在の進捗状況と併せて今後の予定について伺う。

令和3年2月発行の村上後援会チラシから見た町の現状について
(医療・介護・福祉の充実に向けて)



西谷 賢治
議員



24時間対応だが、先達事例を見ても実施は当然可能だと思っており仕組みと人材の確保などまだまだ課題解決が必要。当然かかりつけ医として24時間対応ということでは対応している。

在宅透析については、コロナ過の状況もあり実現が叶わなかった。ここももしかしたら今後検討していきたい。

通院のための移送サービスは、タクシー会社との協議を必要に応じて行ってきたり現在も行っている。

子育て支援拡充に向けて
(放課後児童クラブの待機児童の現状について)

問 待機児童問題について取り上げられたことがあったが現状はどのようなになっているのか。

答
福祉課長

また民間の学童クラブもあるが、そちらへはどのような支援がされてきたのか伺う。

現町が運営している放課後児童クラブについては待機児童が出たことはなく、現在定員25名に対し現在の利用者は平均10名。長期の休暇においても平均15名であり待機児童は発生していない。民間学童保育については1カ所把握しているが現在支援等は行っていない。

問

「保育料の無償化は国の動向を見て検討」「給食費の無償化については教育上の願いで現時点で計画なし」と回答されていたが子育て世代への支援として必要であると考え、次年度から実施に向けて検討する考えは。

答
福祉課長・教育課長

保育料の無償化については国が進めている少子

化対策の動向を見て検討。令和6年度の給食費は、保護者負担の半額についても国の物価高騰臨時交付金を活用し子育て世代の経済的負担を軽減で対応する。

観光施設の整備について

問 町内の公衆手洗いは、東栄町を訪れる方たちへ印象を与える重要な施設だが痛みもひどく一刻も早い修繕が必要。建替えや修繕の計画があるのか。

答
経済課長

建て替えの予定はなく、今のところ改修等を行え



町内の公衆手洗い (故障中)

住民の住環境の整備計画について
(安心して生活できる環境づくりについて)

問 町民から数多くの要望が出ていると思うが、現在何件程度確認されているのか。また、改修・修繕については予算も必要になるが、今後の計画についてどのような状況なのか。

答
建設課長

建設課関係の要望数となるが、現在確認しているのは約140件。要望につきましても昨年度に各区長さんをお願いをして要望の整理等を行い、今後重要度などにより優先順位を決めて実施していく予定。



浅尾もと子 議員



医療介護体制

問 町長は公約「人工透析の民間クリニックの誘致の検討」をいつまで続けるのか。また長時間、相乗りで送迎される透析患者の苦勞に配慮し、一律の通院助成を求める。

答 福祉課長 相手があり現段階で答えることはない。透析患者の通院費は町障害者施設等通院交通費助成事業で助成している。自家用車を利用しない人を含む一律助成の必要性は質問の意図が分からないので答えようがない。

問 佐久間病院への緊急搬送を円滑にするため電子カルテを共有する考えはないか。

答 診療所事務長 緊急搬送時、佐久間病院と連絡を取って対応している。カルテの共有は、佐久間病院が国の進める電子カルテ情報共有サービスの動向を見据え検討している。

防災対策

問 総務省は令和7年度まで市町村の戸別受信機の配備費用の7割を特別交付税措置する。実質3割の負担で導入できる当該措置を活用し、各世帯に戸別受信機を貸与する考えはないか。

答 総務課長 考えていない。高齢者や要援護者に戸別受信機で呼びかけても一人での避難は困難な部分もあり、

問 自主防災会を中心とした避難体制づくりが取り組むべき課題である。

問 ①町内の住宅の耐震化率を伺う。

答 建設課長 ①今年2月末現在27%。②拡充の予定はないが、県や近隣市町村の状況を確認しつつ検討したい。

問 ①災害時、小規模な緊急復旧作業等に重機や土木技術をもつ町民の対応を認める考えは。

答 総務課長 ①重機による土砂の撤去等には二次災害の補償等の問題もあり、町で対応する。コミュニティ活動助成金の範囲内で検討はできるが、災害に特化した予算の新設は考えていない。②特段ない。

県議主導の新庁舎建設

問 峰野修県議は広報とうえい1月号で町の庁舎移転を「待ったなしの課題」と述べた。町長が新庁舎に言及しない中、県議の訴えは地域主権を踏みにじるものだ。

答 町長 県議が選挙区内の事案に真摯な関心を寄せ、発言することはむしろ当然である。

問 令和8年度をめどに次期総合計画に反映したい。移転の方針は未定だ。

答 町長 ①令和8年度をめどに次期総合計画に反映したい。移転の方針は未定だ。②予算化も未定だ。しかるべき時期に政策提案したい。

地域の食文化を守る

問 法改正で今年6月から手作りの漬物等の販売が許可制となり、生産者の撤退が予想される。金山寺味噌等、町の食文化を守るため、いぶりがっこで有名な岩手県横手市のように設備投資を支援する考えはないか。

答 経済課長 手洗い用と野菜用のシンクを分けるなど、施設整備のハードルは高い。支援の考えはないが、相談があれば商工会の小規模事業者持続化補助金や町の起業家支援補助金の活用を含めて対応したい。



手作りの金山寺味噌

議会力・議員力向上へ!! 学習会を開催

【新年度の「予算審議」に向けて学習会!】

3月議会（定例会）は「令和6年度当初予算」の審議が大きな柱になります。そして、いまの議会議員の半分は1年目で、初めての「予算審議」の場となります。

2月14日、議会で「予算審議・学習会」を開催しました。市町村の新年度予算は、その年度の事業を財政（財源）として示すものです。自治体の1年間の大きな柱です。それぞれの議員が、自治体の「事業」と「予算（財政）」をしっかりと理解して、「予算審議」ができることが議会の重要な役割です。



割です。

当日は、議長から参考図書

（「自治体財政のしくみ」「地方議員・予算決算審査ハンドブック」）をもとに、国の地方財政計画などのデータを使って予算審議のポイントを説明しました。また用意したレジュメに沿って「予算は地方自治法の重要な議決事項であること」「議員同士が合議・協議して議会としての機能を果たすこと」「決算と予算が連動していること」など、予算審議での議会の役割を説明しました。引き続き、いろいろなテーマで議員の学習を進めていきます。



学習会資料

【DXに向けて「タブレット、活用の学習会!】

3月議会（定例会）は新年度の予算などがあるため、いつもより議会に提出される「議案資料」が多くなります。重さにして約2.4kg。ページ数で900ページ以上です。

いま全国の議会で進んでいるのが、「議会のペーパーレス（削減）」の取り組みです。それは単に「紙を減らす」だけでなく、DX（デジタルによる変革）による情報化や効率化を図り、議会の改革をさらに進めていこうという取り組みです。

3月26日、議会で「タブレットを使った資料のデジタル化（ペーパーレス）」「情報のシステム化」などをテーマに学習会



を開催しました。当日は全国

の自治体・議会にシステムを提供している事業者から、実際のタブレットの操作や自治体・議会での活用事例などを聞き、議員から質問をしました。

今後は「具体的な活用方法」「費用の負担」なども含めて、引き続き調査・研究して方向を考えていくこととしました。

（いずれも文責・議長）



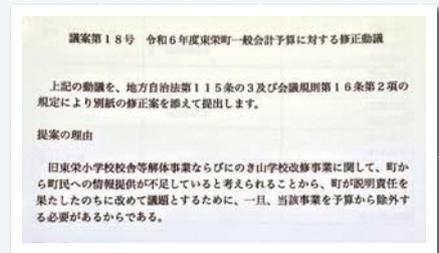
タブレットと議会資料

今回の議会で提出された修正動議とは??

今回、議案第18号 令和6年度一般会計予算について、議員から「修正動議」が提出されましたが、この「修正動議」とは、いったいどのようなものなのでしょうか？

◎ 修正動議とは??

それぞれの地方議会（県・市町村など）では、地方自治法の規定（第115条3）にもとづいて、議員が議会に提出された議案に対する「修正動議（修正案）」をだすことができます。



◎ 動議の提出とは??

修正動議の提出には一定のルールがあり、議員定数の1/12以上の議員（東栄町議会では1名以上）で、修正案の文書を議長に提出します。

◎ 今回の修正動議は??

今回の「3月定例会」では「令和6年度一般会計当初予算」への減額を求める「修正案」が出され、審議されました。

〈*今回の修正案の質疑・採決等の内容は：P6～P8に掲載〉

主な議会活動報告

29	28	27	26	24	20	18	15	9	7	2	31	27	26	24	19	18	17	16	12	9	7	1
東栄町消防観閲式 議会・本会議（開会） 東栄中学校卒業式 議会・一般質問 和太鼓「絆」交流プロジェクト 議会・予算特別委員会 議会・常任委員会 議会・本会議（閉会） 議会報編集委員会（146号） 東栄小学校卒業式 例月出納検査 定期監査（建設課） とっえい保育園卒園式 新城北設業交通災害共済組合議会定例会 社会福祉協議会評議委員会	北設広域事務組合議会定例会 例月出納検査、定期監査（経済課） 郡正副議長会	豊川駐屯地 自衛隊協力会 愛知県町村議会議長会・理事会 豊川市制施行80周年記念式典 議会・全員協議会 議会・運営委員会	奥三河ビジョンフォーラム新春懇談会 豊川駐屯地 自衛隊協力会 三河連合会例会	東三河広域連合議会定例会 議会・運営委員会 議会・議員協議会	東三河広域連合議会定例会 豊川駐屯地 自衛隊協力会 三河連合会例会	東三河広域連合議会福祉委員会 議会報編集委員会（145号） 愛知東農協 新春農政懇談会 議会・議員協議会	東三河広域連合議会福祉委員会 月パイパス起工式 例月出納検査 定期監査（東栄診療所） 定期監査（保育園）	新城北設業市町村議会正副議長会 三遠南信自動車道7号橋完成式 議会・議員協議会	二十歳を祝う会 東三河8市町村長を囲む新春懇談会 議会報編集委員会（145号） 愛知東農協 新春農政懇談会 議会・議員協議会													

編集委員紹介

編集委員会
委員 長：佐々木一也
副委員長：西谷 賢治
委員：岡田 浩二
櫻井 孝憲
発行責任者
議 長：加藤 彰男

6月定例会の予定

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
(電話 0536-76-0505)

6月 6日(木)	本会議（議案上程・説明・質疑）
6月 7日(金)	本会議（一般質問）
6月11日(火)	常任委員会
6月14日(金)	本会議（委員長報告・討論・採決）



とうえい議会だよりは、環境に優しい
植物油インクを使用しています

発行/東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設業郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505